

しきなん

敷島南
小学校

卒証書授与式は

三月一九日(木)
楽しい小学校でしたか?

平成二〇年度第二六回卒業証書授与式は、六年児童六八人(一組三四人・二組三四人)で行います。学級担任の先生方も、最後の授業として、卒業する児童一人ひとりの心に残る式になるように熱い思いを抱きながら指導しています。

なお、卒業式は、公に卒業を認定する式です。国の法律に次の文があります。

学校教育法施行令
第五節 就学義務の終了(全課程修了者の通知)

第二十二條 小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長は、毎学年の終了後、速やかに、小学校：中略：全課程を修了したものの氏名をその者の住所の存する市町村の教育委員会に通知しなければならない。

学校教育法施行規則
第二節 教育課程

第五十八条 校長は、小学校の全課程を修了したと認めたる者には、卒業証書を授与しなければならない。

従って、学校設置者の代表(市長)や、学校を管理する代表(教育委員長)、学校予算監督者(議会議員)、学校職員、そして地域のお世話になつた方々、保護者等が出席します。公の、しかも沢山の視線を浴びる中で肅々と進



2月27日(金)の卒業を祝う会から

む式のため、呼びかけの言葉を工夫したり、声の抑揚や出し方を児童は練習したりしています。

なお、当日の式には四年生以上が出席し、一、三年生児童は休業日(休んでも良い日)になります。

新学期は、四月六日(月)で、新任式・始業式・入学式から始まります。卒業する六年生の皆さん、勉強や部活に中学校生活を大いに楽しんでください。皆さんの成長を敷島南小学校の全在児童や先生方は、とても楽しみにしています。

心に残る卒業を祝う会
二月二七日(金)

新児童会主催で六年生の卒業を祝い、卒業生と在校生が良い思い出を残そうと卒業を祝う会をしました。

卒業する六年生は、一人ひとりが在校児童の前に立ち、自分の得意なことや未来にかける夢を大きな声で発表しながら登場しました。体育館は暗幕を引き、スポットライトに照らされた児童一人ひとりがラケットを持つたりサッカーを吹いたり、得意なパッスを披露したりと、パフォーマンスを交えながらの登場でした。

その後、各学年の子どもたちも工夫を凝らし、



学年ごとに心を込めて合唱



縦割り班ごとに座って感謝の会



サクソの演奏を披露する児童も。

学年ごとに歌を歌い、感謝の言葉を述べました。なお、スライドを使い、六年生が入学した頃の写真などの発表もあり、子どもたちは懐かしそうに見入っていました。



敷島南小学校に校長として赴任して一年になります。いくつもの学校を経験してきましたが、歴史の浅い学校に勤務することは、初めてでした。半年ほどして気付きました。昔から地区内に住むお年寄りの方々とそのお孫さんやお子さんが、違う小学校を卒業していることにです。

挨拶が少ないと言われた勤務校もありましたが、こちらより良かったかも?いくつか原因を考えたところ、結局、我が母校という意識が二六年の歴史では未成熟かな?と想像しています。自然な挨拶ができる学校の取り組みは続きます。求む、妙案!(文責:飯室)